

令和8年度 前期学校評価結果

学校名 **三角小学校**

■ 4-そう思う ■ 3 - どちらかといえばそう思う ■ 2 - どちらかといえばそう思わない ■ 1 - そう思わない

学校生活全般

豊かな心

1

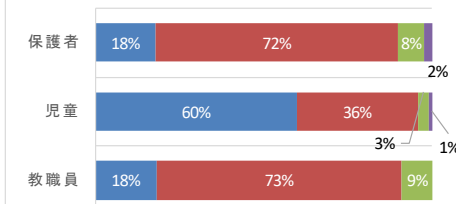
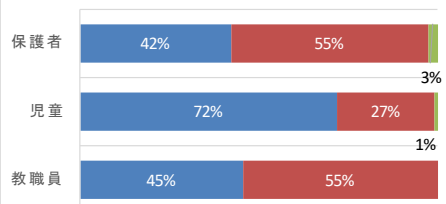
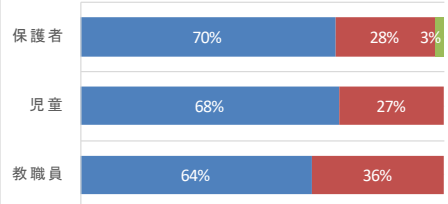
子供は、楽しい学校生活を送っている。

2

子供は、思いやりの心をもって、友達と仲良くしている。

3

子供は、地いきの方や先生、友達に気持ちよくあいさつをしている。



豊かな心

4

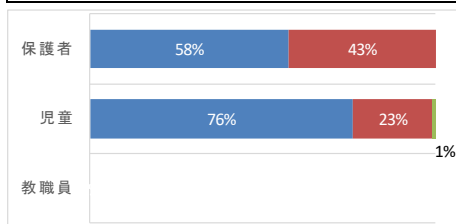
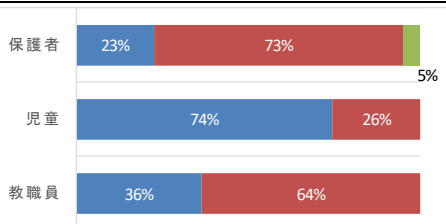
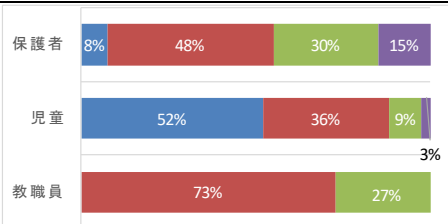
子供は、整理整頓（くつ並べや机上の整理など）の習慣が身についている。

5

子供は、掃除や係活動などに一生懸命取り組んでいる。

6

先生は、子供の気持ちを大切に接してくれている。



- ・1から学校生活には児童、保護者、教職員の3者ともに楽しく充実した学校生活を過ごしていると肯定的にとらえている。
- ・2から心の安定があり他者を思いやり、友人と良好な関係を築いている。
- ・3から児童、保護者、教職員の3者ともに9割以上が他者に挨拶を進んでしている。
- ・4のグラフから学校ではくつ並べは大方できているが、机上の整理に課題がある。家庭では整理整頓全般に関して課題がある。ゆえに今後は、学校においても整理整頓に重きを置いた指導を図っていきたい。
- ・5から掃除や係活動などの仕事を一生懸命に取り組んでいる。
- ・6から教職員が児童一人一人、個に応じた関わりに努め、かつ、保護者との連携を図っている。

確かな学力

7

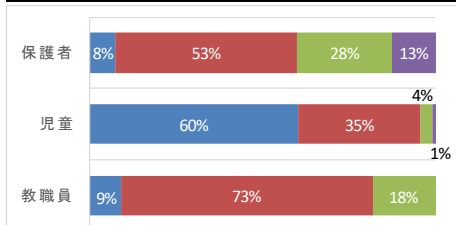
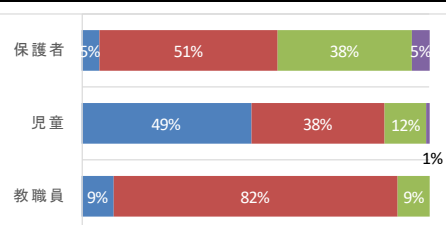
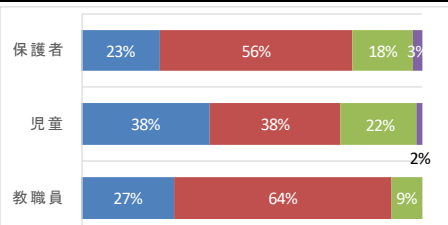
子供は、授業中しっかり話を聞いたり、手をあげて発表したりしている。

8

子供は、学習したことができるようになるまで繰り返し練習している。

9

子供は、家庭学習（宿題、予習、復習など）をすすんでしている。



10

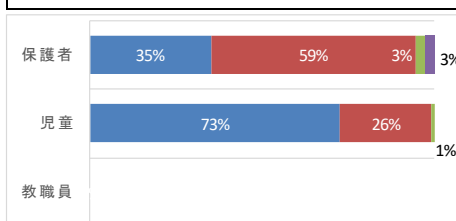
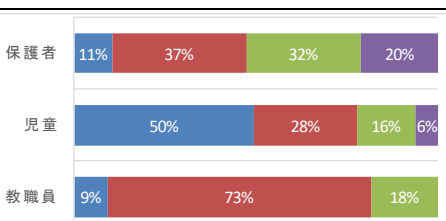
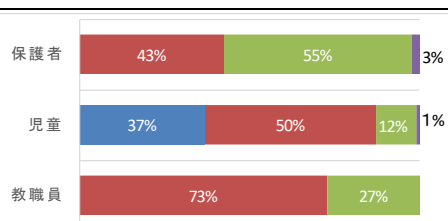
子供は、姿勢をよくして学習している。

11

子供は、すすんで読書をしている。

12

先生は、分からないところを分かるまで教えてくれている。

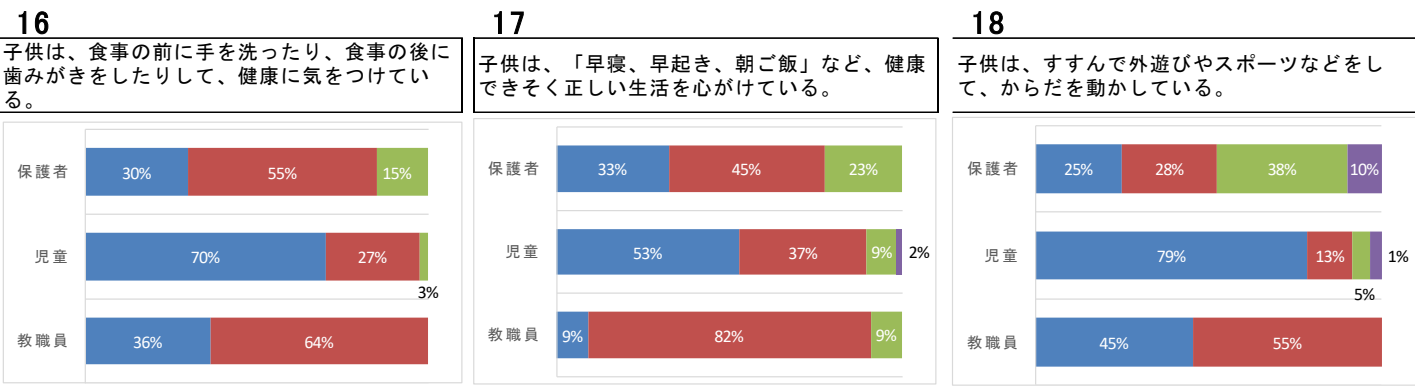
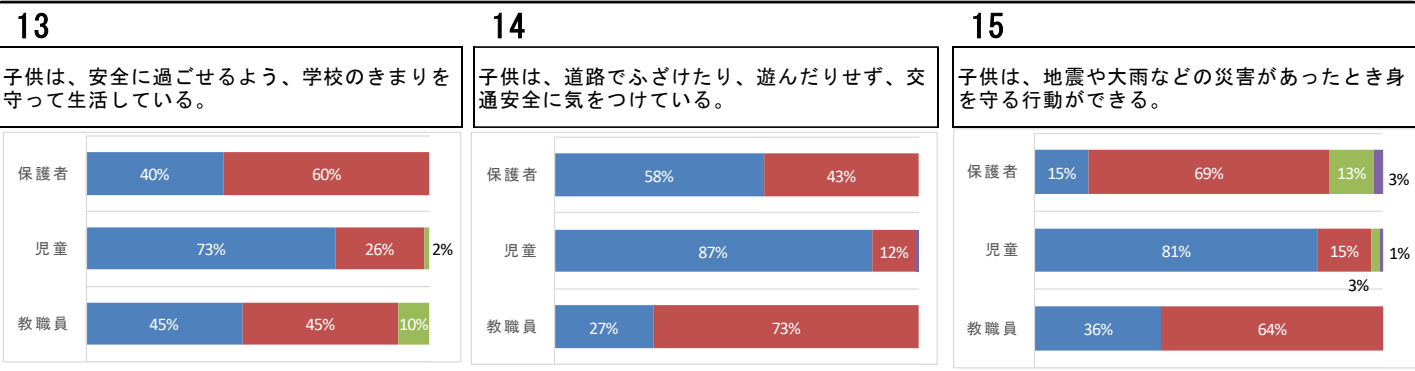


- ・7から児童、保護者、教職員ともに8割以上は意欲的に学習に取り組んでいる。さらに学習意欲を高め深い学びにつなげていきたい。
- ・8、9のグラフから学校では反復した学習や個に応じた支援により理解の促進に結び付けているがため、児童と教職員は肯定的な意見であるが、保護者は否定的な意見が多い。そのため、宿題や課題の提示の仕方を工夫し、自主的な家庭学習につなげたい。
- ・10のグラフから児童と教職員は大方姿勢を保って学習していると肯定的だが、保護者からは否定的な意見である。前項で共通実践している授業での立腰の徹

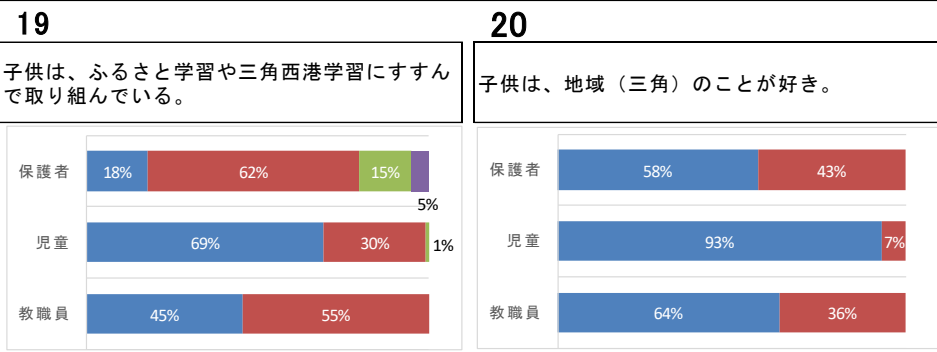
底を全職員ではかる必要がある。

- ・11のグラフから児童と教職員は学校の図書館での貸し借りや読書の時間を設定しているため概ね読書をしていると答えているが、家庭においては自主的な読書につながっていない。保護者と連携をさらに図っていきたい。
- ・12のグラフから児童、保護者とも肯定的な意見である。今後も継続して個に応じた指導・支援を図る。

健やかな身体



郷土愛



13、14から児童、保護者、教職員ともに肯定的な意見であり、規則を遵守して落ち着いた生活を過ごしている。

15から児童と教職員は災害時の避難ができると判断している、避難訓練を毎年継続して実施しているからだと考える。一方、保護者は若干ではあるが、家庭での話し合いが十分にできていない家庭があると考え。そのため、有事があった場合の避難に関しての啓発を図る必要がある。

16から学校では給食指導の徹底によりほぼできています。家庭では食前の手洗い、食後の歯磨きにやや不十分な点があるため、家庭と連携して健康の維持・増進をさらに図る必要がある。

17から児童、教職員は概ね規則正しい生活習慣が身についていると判断している。保護者は7割ほどは肯定的な意見であるが、3割程度は規則正しい生活に課題がある。そのため、機会を捉えて調査を実施し、規則正しい生活の重要性を伝えていきたい。

18から児童、教職員は体を動かしていると判断しているが、家庭では体を動かす児童とそうでない児童の二極化があることから否定的な意見が5割弱である

19、20から児童、保護者、教職員の3者ともに、児童がふるさと三角を愛し誇りに思っていることから肯定的な意見である。